

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
3. 活力みなぎる元気な街					
札幌の経済を支える企業・人の支援					
	P28		中小企業金融対策資金貸付	産業振興部	88,329,000
札幌の強みを活かした産業の育成と企業の誘致					
	P29		HFC(北海道フード・コンプレックス)国際戦略総合特区関連	産業振興部	14,300
	P30		札幌コンテンツ特区関連	産業振興部	24,170
文化芸術や地域ブランドを活かした観光・MICEの推進					
	P31		シティプロモート推進	政策企画部	17,000
	P32		シティ・リゾートウェディング推進事業	観光コンベンション部	9,500
	P33		国際芸術展開催準備事業	文化部	43,573
将来を見据えた魅力ある都市の整備					
	P34		苗穂駅周辺地区まちづくり関連	都市計画部 土木部	116,601
	P35		北1西1街区再開発関連	都市計画部 文化部	7,500 15,000
	P36		路面電車延伸推進事業	総合交通計画部 高速電車部	512,813
	P37		総合的な駐輪対策の推進	建)総務部 土木部	292,147
	P38		民間再開発によるまちづくりへの支援事業	市街地整備部	658,000
	P39		保全推進事業	建築部	3,457,990

目 的

中小企業者の経営基盤の強化および健全な発展と振興に資するため、事業活動に必要な資金供給を円滑化

事業内容

融資に必要となる原資の一部を金融機関に預託し、中小企業者の事業活動に必要な資金を円滑に調達できるよう支援

- ・ 一般中小企業振興資金貸付金 72,487,000千円
 (うち札幌みらい資金 5,880,000千円)
- ・ 特別資金貸付金 15,840,000千円
- ・ 札幌みらい資金事務費 2,000千円

重点4分野を更に支援するため

「札幌みらい資金」の利率を引き下げ!

1.9% (7年以内は1.7%) 1.5%

拡充

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	91,029,500	88,329,000	-	-
(うち一般財源)	(1,500)	(2,000)	-	-

融 資 枠

- ・ 一般中小企業振興資金 23年度: 2,096億円
 24年度: 2,114億円
 (うち札幌みらい資金 100億円)
- ・ 特別資金 23年度: 229億円
 24年度: 227億円

(単位:千円)

目的

北海道を東アジアにおける食の研究開発・輸出拠点とすることを目的とした「HFC(北海道フード・コンプレックス)国際戦略総合特区」の実現を図る

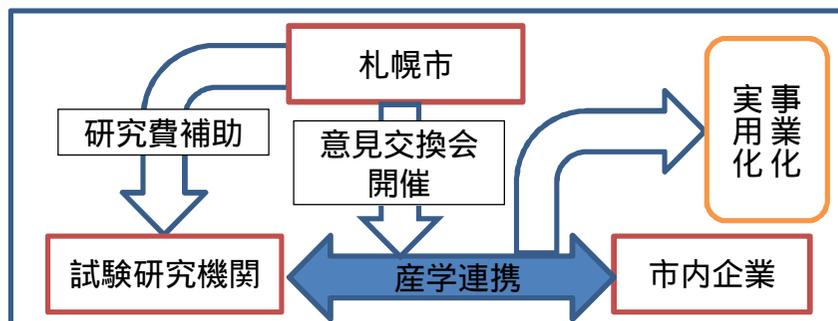
	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	4,800	-	-
(うち一般財源)	(0)	(4,800)	-	-
事業費	0	9,500	-	-
(うち一般財源)	(0)	(9,500)	-	-

フードイノベーション創造支援事業

[事業費4,800千円]

「食と健康」に関する研究を行う若手研究者に対し研究費の補助を行い、技術革新を推進するとともに、関連企業との連携を図り、研究成果の事業化・実用化を目指す

- ・ **フードイノベーション創出支援補助金** 4,000千円
【条件】道央圏の試験研究機関に所属するの40歳以下の研究者
札幌・小樽・江別・石狩・余市・千歳・恵庭・北広島・南幌・長沼・当別
- ・ **産学意見交換会** 200千円
- ・ **事業運営等** 600千円

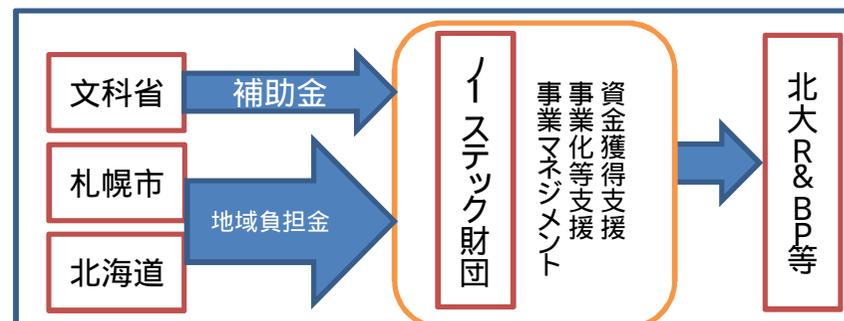


地域イノベーション戦略推進事業

[事業費9,500千円]

「地域イノベーション戦略推進地域」に選定された「北大リサーチ&ビジネスパーク」を中心に行われる「食・健康分野」の研究開発や事業化、「医療分野」との連携などのマネジメントを担う北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)へ補助を実施

- ・ **地域イノベーション戦略推進負担金** 9,500千円
(地域負担金 38,000千円:
道1/2、市1/4、振興センター1/4)



目的

特区申請による映像製作に関する規制の緩和・権限の委譲などを通じた、映像製作数の増加および経済・観光の地域経済への波及

(単位:千円)

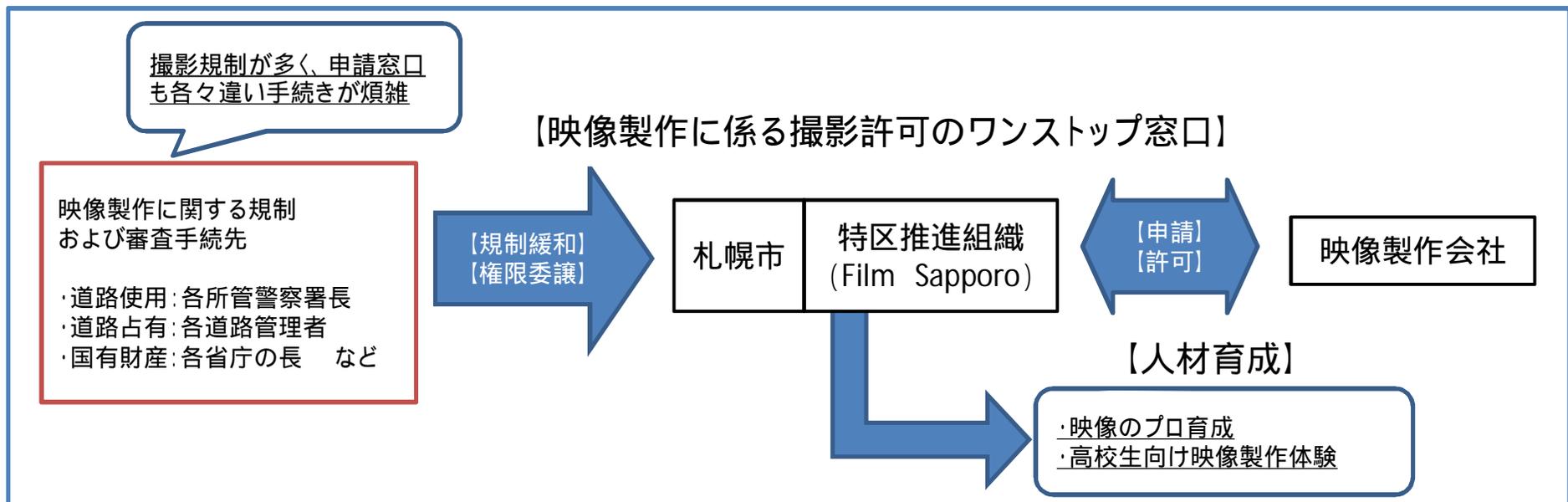
	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	24,170	-	-
(うち一般財源)	(0)	(24,170)	-	-

事業内容

特区による規制の緩和・権限の委譲によるワンストップ窓口の運営や人材育成等を実施

- ・ワンストップ窓口・協議会運営費等
- ・人材育成等

16,170千円
8,000千円



目的

国内外に向けて札幌の魅力を発信すると共に、市民自らも自分のまちに誇りを持つこと、特に市民のライフスタイルに根差した魅力の再発見や北海道全体を含めた魅力の再発信を実施

事業内容

H23年度中に策定するシティプロモート戦略の目指す姿(ゴール)に向かって、各部局の実施計画と連動し、「笑顔になれる街」を札幌のイメージとして、市内外に定着させる事業を実施

戦略の方針に合致する民間事業者やNPO等の事業との連携を図り、産民学官で協働して進めるとともに、道内他市町村との連携を強化

- ・プロモーション支援事業： 11,500千円
{ 各種事業、取組と連動したPRやWEB運営費
} プロモーションツール作成費等
- ・道内他市町村と連携した魅力発信事業： 5,500千円

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	10,000	17,000	-	-
(うち一般財源)	(8,500)	(17,000)	-	-

シティプロモートのゴール

「笑顔になれる街」

3つの基本方針

魅力の再発見 「行きたいまち」から「住みたいまち」へ

- 1.札幌のライフスタイルに根差した魅力の発信
- 2.まちへの誇り(シビックプライド)の醸成
- 3.環境首都としての都市ブランドの定着と発信

魅力を味わい発信する

「札幌・北海道の魅力を支え、発信するまち」へ

- 1.道内の交流人口増や経済活性化を目指した北海道の魅力発信
- 2.都市間協力による助け合いとグローバルなネットワークづくり
- 3.市民によるおもてなし力の強化と魅力発信

魅力の創造 「新たな挑戦を支援するまち」へ

- 1.外貨獲得と産業への投資による国際競争優位性の獲得
- 2.産民学官連携で、札幌のライフスタイルからの魅力産業の創造
- 3.札幌を支える人づくりの支援とまちづくり

シティ・リゾートウエディング推進事業 観) 観光コンベンション部

目的

東アジア等からフォトウエディング（結婚記念写真旅行）を誘客することにより、写真に映える美しい街並みという札幌のイメージを定着させるとともに、新たな観光需要を掘り起こす

事業内容

モニターツアー等によるPRのほか、写真事業者への研修やアフターウエディングの充実のためのコーディネートを実施

アフターウエディング
旅行とセットで楽しめるレストランやアクティビティ（体験活動等）などのプラン

- ・ プロモーションの実施 3,200千円
- ・ モニターツアーの実施 1,300千円
- ・ 着地型素材の充実のためのコーディネート 2,000千円
- ・ HP及びPRツールの内容の充実 1,000千円
- ・ 満足度調査 2,000千円

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	6,000	9,500	-	-
(うち一般財源)	(6,000)	(9,500)	-	-

フォトウエディング イメージ

北海道庁



旭山記念公園



モエレ沼公園（ガラスのピラミッド）



(単位: 千円)

目的

「創造都市さっぽろ」のシンボリックなイベントとして、都市と自然が調和した札幌特有の環境を活かした定期的な国際芸術展を開催し、アートで世界と結ぶ札幌を目指す

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	3,500	43,573	-	-
(うち一般財源)	(3,500)	(43,573)	-	-

国際芸術展の事例

事業内容

国際芸術展の実施主体となる実行委員会の設立及び運営

機運醸成のためのプレ展覧会開催

- ・ 実行委員会の設立及び運営 32,607千円
- ・ プレ展覧会開催(1回) 10,966千円

【開催年: H26年度を想定】



あいちトリエンナーレ



神戸ビエンナーレ



越後妻有トリエンナーレ

～活力みなぎる元気な街～

苗穂駅周辺地区まちづくり関連

市) 都市計画部
建) 土木部

目的

南北に分断され、駅北口が無いなどの課題を有している苗穂駅周辺地区について、駅の移転橋上化や、都市施設の整備により、地域課題を解消するとともに、交通結節機能を強化させ、民間開発を誘導することで、「都心居住の場」、「広域から集う場」を創造

事業内容

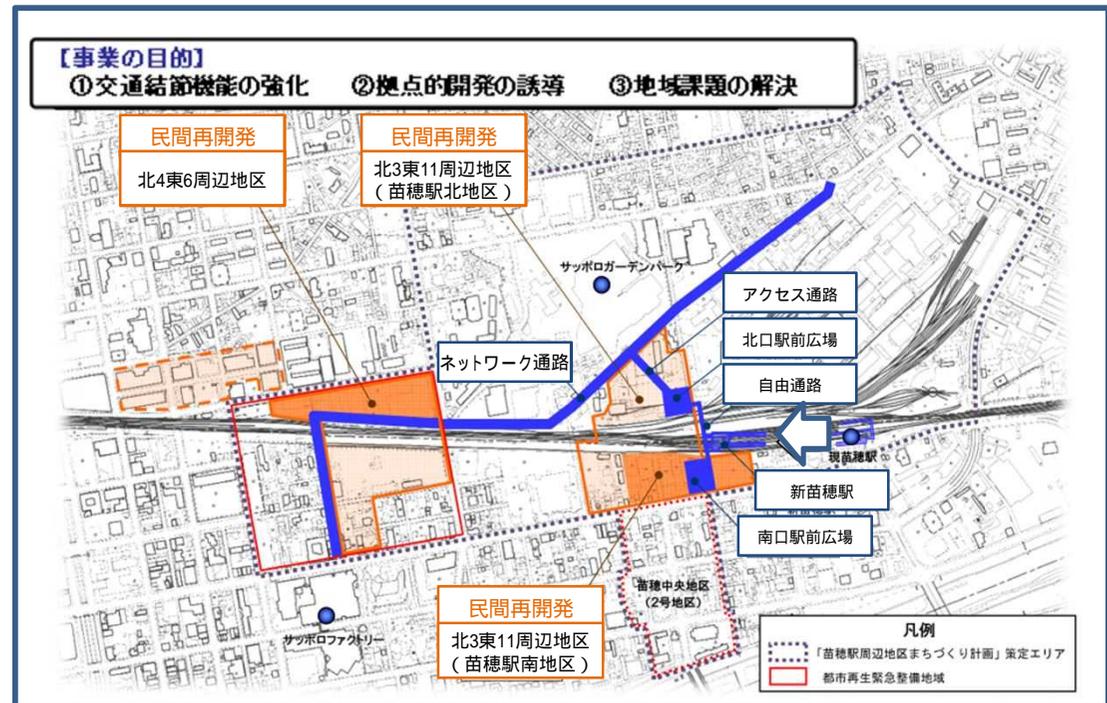
駅舎の移転橋上化のための調査測量、基本設計、ワークショップと、南北駅前広場、自由通路など都市施設整備のための調査測量、予備設計を実施

- ・ 駅舎調査測量・基本設計 41,800千円
- ・ まちづくり推進業務 6,801千円
- ・ 駅前広場・自由通路等調査測量・予備設計 68,000千円

想定総事業費	136億円
(うち札幌市負担)	57億円)

(単位: 千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	116,601	-	-
(うち一般財源)	(0)	(112,100)	-	-



スケジュール



目 的

創世交流拠点のまちづくりを先導する事業である北1西1地区再開発事業を推進するとともに、当再開発事業において、今後の札幌の文化芸術・創造的な市民活動の拠点となる(仮称)市民交流複合施設を実現

北1西1街区再開発準備負担金

再開発事業の準備組織(再開発準備組合)が行う事業化に向けた検討に要する費用等について、組合を構成する地権者の一員として応分の負担金を措置

- ・再開発準備組合負担金 6,580千円
- ・事務費等 920千円

市民交流複合施設ホール等検討事業

市民交流複合施設を構成する施設のうち、ホール、アートセンターについて、施設計画、運営計画等の検討を実施

- ・ホールの検討 8,418千円
- ・アートセンターの検討 2,617千円
- ・事務費等 3,965千円

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	7,000	7,500	-	-
(うち一般財源)	(7,000)	(7,500)	-	-
事業費	11,000	15,000	-	-
(うち一般財源)	(1,100)	(15,000)	-	-



スケジュール

予定

平成24～25年度：施設計画等の検討、都市計画手続きなど
平成26年度：着工

～活力みなぎる元気な街～

路面電車延伸推進事業

市) 総合交通計画部、交) 高速電車部

目的

「都市の活性化」「高齢社会への対応」「環境負荷の低減」のため、路面電車の延伸により、札幌のまちの賑わいや魅力的な空間を創出

(単位: 千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	123,400	512,813	-	-
(うち一般財源)	(123,400)	(117,813)	-	-

事業内容

路面電車延伸に向けた設計、各種検討等

延伸検討調査等	28,200千円
トータルデザイン検討	32,800千円
協議会・市民への情報提供等	37,000千円
低床車両購入等	348,965千円
ループ化実施設計等	65,848千円

想定総事業費 2,866百万円

スケジュール

- H24年度：実施設計
- H25年度：各種法手続き
- H26年度：ループ化実施



目 的

迷惑駐輪により歩行環境や景観が悪化していることから、都心部及びJRや地下鉄の駅周辺について、放置禁止区域の拡大に向けた公共駐輪場の整備や官民協働手法による駐輪容量の確保

事業内容

都心部や駅周辺において駐輪場の整備を進めるとともに、誘導整理員の配置及び長期駐車自転車撤去を行い駐輪場の有効活用を図る

- ・ 駐輪場整備 (4 か所) 287,000千円
- ・ 誘導整理業務(レベルアップ分) 3,856千円
- ・ 長期自転車対策(レベルアップ分) 1,291千円

駐輪場整備 H24完成予定箇所
都心部路上(西2丁目線)、北24条駅(幌北団地)

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	55,000	292,147	-	-
(うち一般財源)	(20,750)	(29,947)	-	-

【24年度総要求額】 525,480千円



西2丁目線路上駐輪場整備イメージ (CG)

目 的

民間活力を活用した再開発事業により、土地の高度利用と都市環境の更新を実施

(単位:千円)

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	348,400	658,000	-	-
(うち一般財源)	(174,200)	(329,000)	-	-

事業内容

民間再開発事業の施行者に調査・設計、共同施設整備費等の一部を補助

琴似4・2地区

【計画内容】

- ・ 総事業費：約99億円
(うち札幌市補助：約8億円)
- ・ 地区面積：1.6ha
- ・ H24年度：共同施設整備等
628,600千円
- ・ H25年度：建築工事完了予定
- ・ 用 途：共同住宅(約260戸)
業務施設等
- ・ 概 要：地上40階、地下1階、
R C造、高さ約120m

<琴似4・2地区整備イメージ>



手稲本町1・3地区(新規)

【計画内容】

- ・ 総事業費：約18億円を想定
(うち札幌市補助：約1億円)
- ・ 地区面積：0.31ha
- ・ H24年度：実施設計等 29,400千円
- ・ H26年度：建築工事完了予定
- ・ 用 途：商業・業務施設
共同住宅

(単位:千円)

目的

市有建築物の多くが政令指定都市移行後に集中的に整備され、今後建替え需要が集中することから、計画的な保全等を推進し、施設を長寿命化

	H23予算	H24要求	財政局概定	最終査定額
事業費	2,394,000	3,457,990	-	-
(うち一般財源)	(2,394,000)	(3,457,990)	-	-

事業内容

市有建築物の長寿命化を図る計画的な保全(86施設)

3,154,109千円

保全改修に合わせた環境負荷低減の取組による新エネ・省エネ技術の導入(9施設)

260,129千円

保全改修に合わせたバリアフリー改善の実施(8施設)

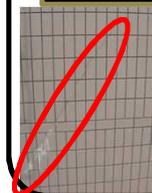
43,752千円

西野地区センターの例



関連して実施する他の事業も併せて掲載しております。

計画的な保全【建築】



外壁タイルの補修
屋上防水の更新

計画的な保全【電気】

老朽化した設備の更新
非常放送、非常照明
自動火災報知
テレビ共聴など

計画的な保全【機械】

老朽化した機器の更新
ボイラー、ポンプ
送風機、外調機など
自動制御設備の更新
配管の更新など

新エネルギーの活用 太陽光発電設備の設置

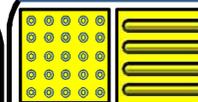


省エネ技術の導入 インバーター照明、LED照明の採用



インバーター照明の採用
LED照明の採用
人感センサーも採用

バリアフリー改善



点字ブロックの追加設置
階段手すりを両側に設置
エレベーター新設



小便器の手すり
オストメイト対応
トイレの設置